

名古屋学院大学同窓会会報

NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION NEWS

創刊号('90.10)

名古屋学院大学同窓会事務局発行
愛知県瀬戸市上品野町1350
TEL0561-42-0350(内線201)

会長 岸 邦治郎

『大学同窓会会報』の創刊によせて



秋冷のころ、大学の卒業生の皆様には、ますますご健勝のことと拝察いたします。平素は、大学同窓会の運営と母校の発展のため格別のご配慮、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

(大学同窓会の活動開始)

さて、大学同窓会では、皆様から、卒業生・恩師の方々の近況、大学の動向などを知らせてほしいとの要望にお応えするために、『名古屋学院大学同窓会会報』創刊号を発行することになりました。これまでは敬愛同窓会誌「敬愛」で大学関連の情報を一部お知らせしてきましたが、今後は、大学同窓会が独自に会報を発行し、大学の細部にわたる情報提供を行う運びとなりました。

この同窓会報は、同窓生皆さんの結束を高め、本学同窓会の発展を計る上で欠くことのできないものです。発行に際し、快く寄稿してくださいました西村嵩夫学長はじめ諸先生方、会員の皆様、また編集にご尽力いただいた役員の方々に心よりお礼申し上げます。

(大学の発展)

大学同窓会は、諸般の事情によりまして今日まで満足な活動はできませんでしたが、昨年の開学二十五周年記念事業や外国語学部開設、卒業生総数一七、七九二名を機に、多くの学内外関係者より、①大学同窓会の活性化、②卒業生の動向把握、③大学当局との連携等の要望や意見が寄せられましたので、役員会で今年から着手しなければならぬ項目を決定させていただきました。つまり、①同窓会室の設置(一九九〇年四月一日開設)、②役員会構成の見直し、③規程の整備改正、④大学同窓会名簿の整備、⑤ホームカミングデーの企画、⑥運営財源の確保(年会費は一口二千元)などです。いずれも重要課題でありますので、役員一同一丸となつて取り組む決意です。

一九六四年(昭和三十九年)キリスト教主義大学として開学した母校・名古屋学院大学は、今年開学二十六周年を迎えました。この間多くの苦難を乗り越え、当初の一学部二学科(経済学部経済学科)から二学部四学科(経済学部経済学科・商学科、外国語学部英米語学科・中国語学科)に増設され、さらに総合

大学へと計画が着々と進んでおります。教育内容の充実や施設の拡充も進められ、見違えるほど学内の整備も進んでおります。また、留学生別科の設置により多くの留学生(八ヶ国三〇数名)が日本研究を開始し、女子学生も増え、学内は一段と活気をおびています。ここまで母校を成長させていただきました学長はじめ教職員の皆様の日夜に渡るご努力に感謝申し上げる次第です。

近い将来、私立大学は進学人口の減少によって冬の時代を迎えるといわれています。母校もこの時代を避けて通ることはできませんが、大学同窓会が独自性をもって一層の団結を強め、大学当局と協力して、ますます母校名古屋学院大学の発展に努力しようではありませんか。

なお、ながらく大学同窓会の運営についてご報告する機会がなかったことを、この機会に紙面を借りてお詫びいたします。今後は、本会報を定期的に発行させていただきます。年会費につきましても、皆様にご負担をおかけいたしますが、会の円滑な運営のために何卒、ご理解をいただき、同窓会の運営と母校の発展にご支援をお願いいたします。

中国語学科)に増設され、さらに総合

学科・商学科、外国語学部英米語学科・中国語学科)に増設され、さらに総合